

チアダンス

中 一

「チアダンス」と聞いて、みなさんはどのような映像を思い浮かべますか。ポンポンを持ったかわいい女の子の踊る姿を思い浮かべた人が多いのではないのでしょうか。

僕は五歳の時からチアダンスを習っています。踊ることが大好きで、チアダンスの世界大会に出場した姉に憧れて習い始めました。みんなと踊れることが楽しくて、たくさんの人が笑顔になってくれることがうれしくて、チアダンスという競技が大好きです。そして去年は全国大会で優勝することもでき、がんばって本当に良かったと思っています。

しかし、そんな大好きなチアダンスをやっていることをあまり友達などに知られたくないなと思う自分もいます。それは、たいていの人はチアダンスを女子がやるスポーツだと思っているからです。僕がチアダンスをやっていることを話すと、みんな驚きます。

「えっ、ポンポン持って踊るの。」

「男の子でやってる子、いるの。」

「いじられたりしないの。」

などと言われます。そう言われると何だか急に、自分のやっていることはおかしいことなのか、男子は男子らしいスポーツをした方がいいのかと不安になる自分がいました。そしてだんだんと、何か習い事やっていると聞かれると「チアダンス」ではなく「ダンス」をやっていると答えるようになってしまいました。

実際、日本でチアダンスをやっている男子の数は少ないと思います。男子もやっているといいスポーツなのに、地方大会や全国大会でも、出場している男子を見たのは今までで数人です。

しかし、海外では多くの男子がチアダンスをやっていて、大会でも男女混合のカテゴリもあります。どの選手も生き生きと踊り、とてもカッコイイです。男子がポンポンを持って踊っていても、決しておかしくはないし、むしろ男子だからできる高いジャンプや力強い踊りが会場を盛り上げています。

日本の中でのチアダンスは女の子がやるもの、ポンポンが似合うのは女の子というイメージが強く、日本での男子のチア人口が増えない理由の一つとなっていると思います。男子は男子らしく、男子の集団の中に入らないと変だと思われることがとても悲しいです。しかし、今一番そう思っているのは僕自身なのかもしれません。みんなに「ダンス」をやっているとしか言えない僕自身が、男子は男子らしい習い事やっっていないと恥ずかしいことだと思ってしまうのだと思います。

僕は、そんな自分を少しずつでも変えていきたいです。チアダンスは人を応援し、みんなを笑顔にできるすばらしいスポーツです。女子だけでなく、男子もやっっているスポーツです。僕がもっと上手くなつて、見てくれる人が「男子がやっっているのかっこいいね」と思ってくれる選手になりたいです。そして世の中の、女の子だからとか男の子だからという考えをなくしたいと思います。自分一人が周りと違うことをするのはとても勇気がいるし、難しいことだけれど、まずは僕自身の偏見をなくすことから始めたいです。男子だからとか女子だからという考え方ではなく、性別関係な

く同じ人として、いろいろな人を応援できる人になっていきたいです。

チアダンスは障害がある人も、年をとっている人も、誰でも一緒にできるスポーツです。日本でももっと男女の壁をなくして、「チアダンス」と聞いたら男女がポンポンを持って踊っている映像が頭に浮かぶようになる日が来るように、まず僕がいろいろな人を認めることができる人になっていきたいと思います。男子の僕を認め、一緒に踊ってくれているメンバーに感謝しています。